

健康強調月間

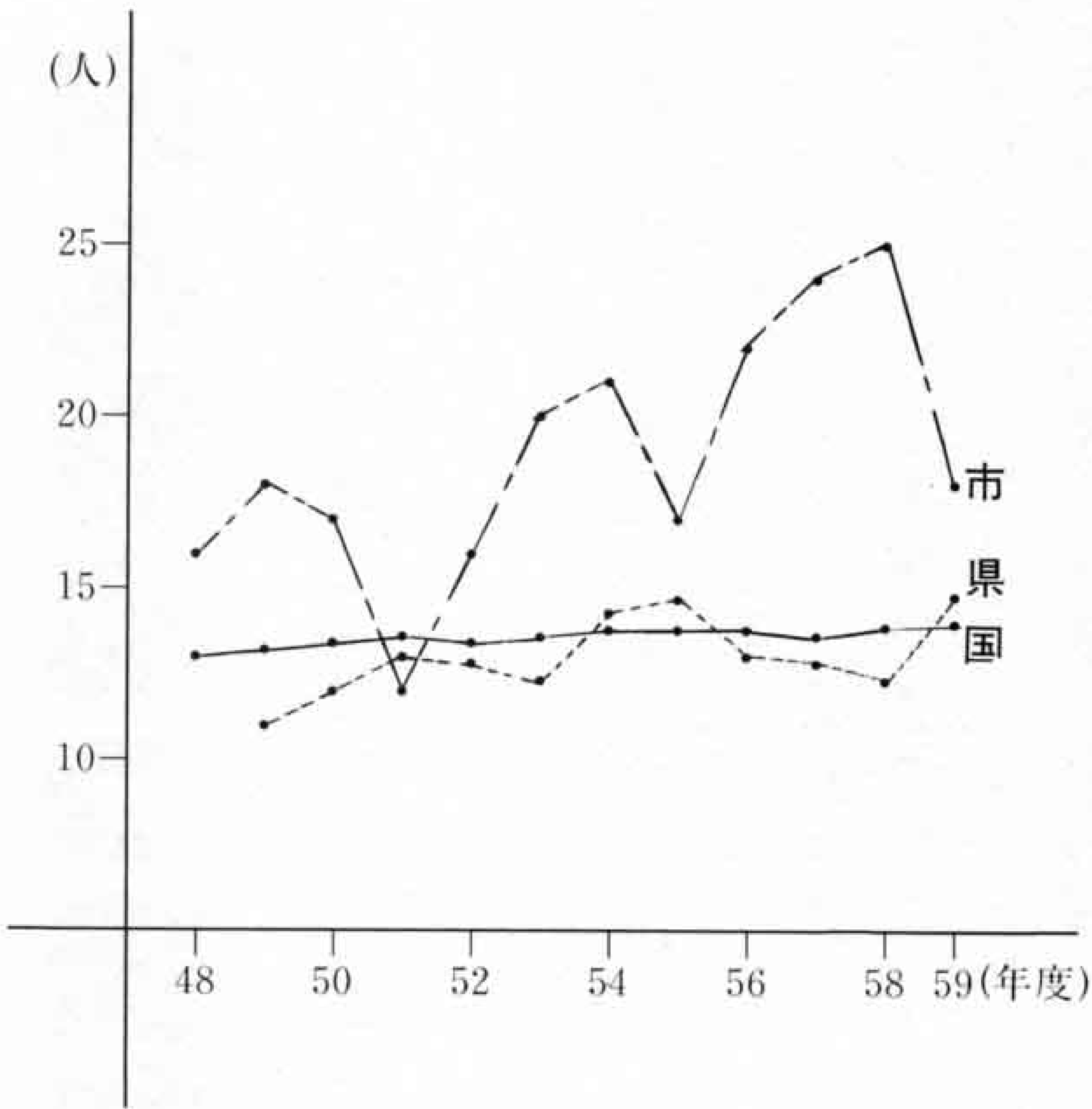
肝臓機能検査をうけてみましょう！

富士市に多い
肝硬変・肝臓がん

富士市の肝硬変等による死亡率は、人口十万人に対して、国、県の十四人に比べると、二四・五人と大きく上回っています。

肝臓がん死も全国を一〇〇とした場合、男性一二四と異常に高くなっています。(昭和五十七年) 病気になるためには、早期発見、早期治療が大切です。

慢性肝疾患及び肝硬変死亡率 (人口10万人対比)



肝臓病の予防には

- 一、B型肝炎ウイルスは血液から感染します。カミソリ、歯ブラシなどの共用はさけましょう。
- 一、お酒を飲み過ぎないようにしましょう。
- 一、薬の乱用はやめましょう。
- 一、バランスのとれた食生活に心がけ、特にたんぱく質やビタミン・ミネラルが不足しないようにしましょう。
- 一、疲れをためないことが大切です。肉体的にも精神的にも過労は禁物です。
- 一、自覚症状がなくても年に一回の血液検査で早期発見を!

肝臓機能検査が無料で受けられます

肝臓病は、十年から二十年の間に肝炎↓肝硬変↓肝臓がんと移行する場合があります。自覚症状がでにくいので年に一回は検査を受け早期発見に心がけましょう。今年から一般診査の中で肝臓機能検査が無料で受けられます。各病院に申し込んでください。



肝臓機能検査

GOT・GPTについて

肝臓の中には非常にたくさんアルコールがあり、GOT・GPTは一般にトランスアミナーゼと称しています。

ウイルス感染等により肝臓が障害をおこすと、肝細胞がやられてつぶれます。すると肝細胞の中にあつたトランスアミナーゼが、血液の中にあふれ出るわけです。

そのふえ方で、肝臓の障害がどの程度かということ判断するわけです。

一般診査のお知らせ

- ・検査内容
 - 一、血液検査(肝臓機能、総コレステロール)
 - 二、血圧、検尿、医師の聴打診など。
- ・料金 無料
- ・実施場所
 - 市内のすべての病・医院(市立中央病院は除く)
- ・実施期間
 - 昭和六十二年三月三十一日まで(年間を通して)
- ・対象者
 - 市内に住む四十歳以上の方(ことしすでにこの検診を受けた人は除きます)
- ・問い合わせ先
 - 市健康課 市内線二四四五

